

言語活動の CAN-DO リストにおける位置付けを示し、英語によるディスカッションを通して「主体的・対話的で深い学び」を目指した単元デザインとなっています。

【実践3：コミュニケーション英語Ⅲ】

単元ごとの指導と評価の計画（単元構想）

使用教材 教科書：_____ English Communication III（ 出版）

1 単元名 Lesson

2 単元の目標と言語活動

【単元の目標】

「宇宙ゴミ」が深刻な国際問題となっている状況を理解し、宇宙ゴミとはどのようなもので、なぜ宇宙ゴミが出されるのか、その危険性や対策について学ぶ。また「もし高校時代に宇宙旅行へ行けるとしたら」というテーマについて、そのよい点や問題点について考察し、英語でディスカッションをすることができる。

【言語活動】

- ・各パートの内容について、1分程度のプレゼンテーションを発表する。
- ・宇宙旅行に行くことのよい点や問題点を踏まえた上で、グループ内でディスカッションをする。

3 単元の評価規準

評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
評価規準	①ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、積極的に会話を続けている。	①本文の内容を要約し、因果関係を踏まえ、聞き手に伝わるように話すことができる。 ②自分の感想や意見を述べ、ディスカッションすることができる。	①本文を読み、宇宙ゴミについての大意を把握することができる。 ②宇宙ゴミの原因・結果・対策について理解できる。	①条件節を含まない、あるいは語句の省略された仮定法の文を理解している。 ②読んだ内容について、要約や感想を述べるための表現を理解している。
内容の まとめ	①話すこと、聞くこと	①②話すこと	①②読むこと	①書くこと ②話すこと
評価方法	①活動の観察	①②活動の観察	①②ワークシート	①定期考査（後日） ②活動の観察

4 主な言語活動と「CAN-DO リスト」との関連

	CAN-DO リスト (p.32)	言語活動
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 質問に対して答えるとき、新しい情報を加える、相づちを打つ、質問を返すなどをし、会話を途切れさせずに続けることができる。（3年「話す」） ● ディスカッションなどで与えられた役割を果たし、場面や状況に応じて、即興で話すことができる。（3年「話す」） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ペア・トーク ● 要約 ● プレゼンテーション ● ディスカッション
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書等で習った英文に関して、自分でまとめ直し、要約文を書くことができる。（3年「書く」） 	<ul style="list-style-type: none"> ● パラグラフライティング
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語で聞き取った情報を基に、その後の展開を推測したり、答えを導き出したりすることができる。（3年「聞く」） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ペア・トーク ● ディスカッション
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 速読で本文の内容をほぼ理解できる。（3年「読む」） ● 論理性のある文章を読むときに、Topic Sentence や Reason, Counter Argument 等を意識しながら、文章全体の構成を把握することができる。（3年「読む」） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 速読 ● 精読

5 指導と評価の計画

時間	ねらい, 学習活動, 指導上の留意点	評価の観点	評価方法
1	<p>[ねらい] 本文全体を読み, Vocabulary Sheet を参考にしながら速読により大意を把握し, 段落関係を理解する。</p> <p>[学習活動]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単元内容の背景となる知識を活性化する。 ・教師による oral visual introduction 2. 新出表現の発音や意味を確認する。 3. 本文を読み, ワークシートの T/F questions により大意把握をし, 「主題」「因果関係」「解決法」「結論」などの段落構成を理解する。 <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2について, 教師による発音指導の後に, ペアで互いに単語を発音し合い, 聞いている側がその意味を日本語で答える。授業の初めに毎時間行う。 ・活動3について, キーセンテンスを見つけて段落の要旨を速やかに理解し, パラグラフリーディングをするというねらいを伝える。 ・未知の語句の意味を類推しながらスピードを意識して読み進める。 ・今後行うグループ・ワークで, 単元のまとめとして「もし高校時代に宇宙旅行へ行けるとしたら」というテーマについて, グループでディスカッションすることを伝える。 	<p>関心・意欲・活動の観察態度</p> <p>理解①</p>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p>
2 ～ 3	<p>[ねらい] 各パートの内容についてメモを基に口頭で要約し, プレゼンテーションを発表する。</p> <p>[学習活動]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ペアによる新出表現のインプット活動 2. グループ内で協力し段落ごとに精読しながら, ワークシートに各段落の要旨をまとめ, 設問に答える。 3. 段落の要旨と段落間の関係を確認する。 4. 条件節を含まない仮定法の用法について理解する。 5. 音声CDや教師のモデルのスピードに遅れないように斉読する 6. 読んだ内容について, 簡単なメモを基に口頭で要約し, 1分以内でプレゼンテーションをペアで行う。 <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動2, 3では段落内の文のつながりも意識させる。 ・活動4では, 生徒に使用場面を意識させ, 単なる文法事項の説明にならないように注意する。 ・活動6について, 学習到達目標や評価項目を事前に周知させる。発表はペアの相手を変えながら3回程度行う。聞き手は発表者の評価を評価シートに記入し, よかった点や改善点を伝える。発表者は, 毎回の発表後に, 内容だけでなく発音や発表方法等の改善に努める。 	<p>関心・意欲・活動の観察態度</p> <p>理解②</p> <p>知識・理解①</p> <p>表現①</p> <p>表現②</p>	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p> <p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p>
4 ～ 5	<p>[ねらい] 「もし高校時代に宇宙旅行へ行けるとしたら」というテーマについて, そのよい点や問題点について, グループで自分の意見や感想を理由とともに発表し合いながら, ディスカッションをする。</p>	<p>表現②</p>	<p>活動の観察</p>

	<p>[学習活動]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4～5人のグループをつくり、司会者と記録係を決める。 2. 宇宙旅行へ行くことの良い点や問題点について、司会者の進行で、できる限り多くの意見を出す。 3. グループ内の意見を基に、自分の意見を理由とともに2文以上の英語で書く。 4. グループのメンバーを入れ替え、再度司会者を決めてディスカッションする。司会者は全員がバランスよく話すことができるように配慮する。自分の意見を述べた後は、相手の意見を踏まえて賛成意見や反対意見を述べる。 5. 活動後は自己評価シートに記入しながら、振り返りをする。 		
--	--	--	--

<実践3 CAN-DOリスト例>

	1年生	2年生	3年生
話すこと	<p>身近なテーマについて、相手に質問をし、答えることができる。</p> <p>あらかじめ自分の考えや説明をまとめ、それを聞き手に伝わるように発表することができる。</p>	<p>質問に対して答えるとき、何か新しい情報を付け加えることができる。</p> <p>さまざまなテーマについて、文章の流れや聞き手への分かりやすさを意識しながら原稿をまとめ、発表することができる。</p>	<p>質問に対して答えるとき、新しい情報を加える、相づちを打つ、質問を返すなどをし、会話を途切れさせずに続けることができる。</p> <p>ディスカッションなどでの役割を果たし、場面や状況に応じて、即興で話すことができる。</p>
書くこと	<p>ブレインストーミングができる。</p> <p>文法的な間違いを恐れず、英文を書くことに親しむことができる。</p> <p>身近なテーマについて、Topic Sentence, Reason 1, Reason 2, Reason 3 (Counter Argument), Conclusion の5文以上で自分の意見を書くことができる。</p>	<p>さまざまなテーマについて、文と文のつながりを示す語句に注意し、また客観的な理由を述べながら、100語程度で自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>さまざまなテーマについて、自分の考えや関連する情報を元に、150語程度で論理的な文を書くことができる。</p> <p>教科書等で習った英文に関して、自分でまとめ直し、要約文を書くことができる。</p>
聞くこと	<p>短い対話文やスピーチを聞いて、情報や考えなどを大まかに理解することができる。</p>	<p>対話文を聞いて、話の要点を理解することができる。</p> <p>アナウンスやニュースのようなある程度まとまった内容の要点を理解することができる。</p>	<p>対話文や、まとまった内容の英文を聞き、必要な複数の情報を聞き取ることができる。</p> <p>英語で聞き取った情報を基に、その後の展開を推測したり、答えを導き出したりすることができる。</p>
読むこと	<p>未知の語があっても、英文を読み通すことをあきらめず、とばしたり意味を推測したりしながら、文章全体の大まかな内容を把握することができる。</p> <p>簡単な問題 (T or F 問題等) を解くのに必要な根拠となる箇所を見つけることができる。</p>	<p>速読で本文の内容をある程度理解できる。</p> <p>前後の文脈から、未知語の意味を類推して英文を読むことができる。</p> <p>パラグラフリーディングを意識し、段落ごとのまとまった意味を考えながら読むことができる。</p>	<p>速読で本文の内容をほぼ理解できる。</p> <p>論理性のある文章を読むときに、Topic Sentence や Reason, Counter Argument 等を意識しながら、文章全体の構成を把握することができる。</p> <p>必要な情報を英文の中から短時間で正確に見つけることができる。</p>